

## A B r i e f N o t e   N o . 1 8 6

発行日：2007.10.4

発行人：Matsuo Masayasu

### 北東北サイクリング（夫婦日本縦断）その2 / 3

東京都板橋区 河野 照夫

（5）8月12日 日曜日 晴れ 芝居見物と熱中症

ユックリ起きてまともな朝食を食べる。

「鉾山事務所」は開館時刻前であったが入れてくれた。ボランティアのガイドさんは我々の予定（芝居見物 10 時開演）を聞いて、三速から五速に切り替えて説明してくれた。ここでも感謝。

もう一つのお目当ての「康楽館（こうらくかん）」に行く。ここは建物そのものの見物とそこで演じられるお芝居を見ることである。金銀を掘り出していた町。鉾山事務所も康楽館も贅を尽くしている。明治に作られた芝居小屋で廻り舞台やスッポンを使った「松の廊下」や「国定忠治」などの芝居やショーを栈敷席で見る。私は危なく舞台の上に引き釣り上げられるところであったが難を逃れた。そのせいかあらぬかそのあと花道を降りてきた「忠治」に家内が突如後から切りつけられた。我々は無論、一緒に見ていた観客もびっくりした。笑ったり涙が出たりで実に楽しかった。2 時間はあっという間であった。



下町かぶき組 劇団龍 座長門戸竜治さんと 鹿角市 国道282号線 錦木バイパス

遅い昼ごはんを食べて気温38度の中を一時間程走り道の駅に着くと家内が気分が悪いと言い出した。涼しい芝居小屋から灼熱の太陽が照りつけるバイパスに飛び出したのだから無理はない。道の駅の涼しいところで一時間ほど昼寝。宿も3km先の温泉宿が確保できた。その間私は「花輪ばやし祭り展示館」を見物した。

計画：十和田湖休屋 発荷峠 笹森展望台 小坂町 鹿角（かづの）花輪 八幡平駅

走行計画：51.8km

朝の予定：小坂町 鹿角花輪 八幡平駅 東トロコ温泉

走行予定：40km

実績：小坂町 鹿角花輪 五ノ宮温泉（八幡平）

走行実績：23.35km。

## （6）8月13日 月曜日 快晴 五感で楽しむ

昨夜は早く寝たので午前4時50分出発。今日は山越えで、進むか戻るか エスケープ・ルートは無い。救いは温泉宿がところどころに在ることだ。

とりあえず新玉川温泉に向けてR282からR341へ入って行く。車は全く通らない。気温は18度。朝靄と冷氣の中を走る。心なしか吸っている空気が臭い。鶏糞の臭いがする。改修され舗装されたばかりの国道を徐々に登っていく。

模型ヘリコプターのエンジンのような音が聞こえてくる。野焼きの煙が遥か彼方に二筋上がっている。長閑な田園風景である。徐々に進んでいくと煙と音の正体は、稲田に撒く農薬と噴霧器のエンジン音のようだ。くさいのもその臭いの気がしてきた。

山道を登っていくと獣の屍骸が道に転がっている。戻って良く見ると狸の子供でる。今回のサイクリングで初めて遇った骸である。山陰道などに比べ少ない。その後何匹も蛇の子供が轢かれていた。今日は昆虫の屍骸も多い。アブ・蝶・トンボなど。落し物でも探すように道を見ながら登っているとクワガタがいた。そのままでは車に惹かれるので拾って行く事にした。これで二匹目だ。



### 6時大きなお握りの朝食（虫を払いながら）

大場谷内（おおばやち）という標識のあるところで日陰を探しておやつを食べる。大型観光バスが止まり、客がぞろぞろ降りてきた。こんな山の中の何も無いところでどうしたのだろうと観察。むこうの方がもっと怪訝な顔で我々を見ている。家内の観察だと皆水筒を持ってきて水を汲んでいったという。彼らが出発した後、行って見ると確かに冷たくて美味しい水があった。ガイドさんは良く調べている。

大場谷地の直ぐ先が峠であった。またまたダウンヒル。あっという間に玉川温泉に着く。三脚を立てて噴泉を撮影していると後から声を掛けられた。私のビデオ作品を見たという東京の人で車で観光しているという。確かに私の作品の話をしている。派手なサイクル・ジャージを着てビデオを撮って歩く人は少ないのだろうか。記念に撮影させて頂いたのだが、今回は初めてのハイビジョン撮影なので何時編集が終わるやら心許無い。

かなり時間を使ってしまったので家内を追いかけると蕙を抱えた小母さんと岩陰でエネルギーの充填中であった。これ幸いと又岩盤浴の光景を撮影する。それでもおばさん同士の話は終わらない。

温泉にも入りたかったが、入ったら動かなくなってしまうので後ろ髪を引かれる思いで

新玉川温泉へ。10時。宿は空いているそうだがあまりに早いので休憩して出発。と思ったら、またまたエネルギー充填。今度はホテル従業員の若い娘っ子。

充分エネルギーを充填して快適なダウンヒル、そしてダウンヒル。真冬に来たときは雪崩の痕だらけでバスに乗っていながら怯えていたが真夏の日差しの中では嘘のようである。

田沢湖たつ子像前



計画：八幡平駅 大場谷内 玉川温泉 新鳩の湯 走行計画：40.8 km

朝の予定：五ノ宮温泉 大場谷内 玉川温泉 新鳩の湯 田沢湖

走行予定：70 km

実績：五ノ宮温泉 大場谷内 玉川温泉 新鳩の湯 田沢湖

走行実績：84.19 km。

### (7) 8月14日 火曜日 快晴 横手盆地迷走

今朝も4時50分出発。秋田杉の綺麗な林の中を心地よく走りだす。走りだすといっても下りばかりでこがないので寒くなってきた。程なくしてR105阿仁街道に出る。実り始めた稲穂の中を緩く快適に下る。

6時角館(かくのだて)武家屋敷街に到着。こんなに早いのにもう何人が観光客と思われる人が居るのにびっくり。パンフレットのように枝垂桜が咲いている時に来たら一段と素晴らしいに違いない。ユックリと心行くまでビデオ撮影。

声を掛けてきた夫婦がいた。昨日玉川温泉・大場谷内への登りで立ち話をした福井からのご夫婦であった。我々は、派手なジャージでしかもキタキリ雀なので目に付くのだろう。

早朝で開いている食堂も無いので角館駅前のベンチでコンビニのお握りで朝食。お握りは何時何処で食べても美味しい。

さて、天気予報に寄れば今日から4日間は、天気は良い。このまま進むと新庄で一日余ってしまう。そこで大曲、即ち大仙市から横手に行かず鳥海山を目指すことにする。峠が幾つかあるが温泉宿も幾つかあるので安心だと家内に説明する。

大曲に向けてR105角館街道が町を出て直ぐに、「払田の柵」の標識があった。家内にちょっと寄り道したいと同意を求めた。「どのくらい先?」「直ぐそこだと思うよ」何時もの会話。当初の計画には無いコースに入っていく。しかし田圃田圃の中、行けども行けどもそれらしいものは無い。陽はだんだん高くなり暑くなってきた。道を聞ける人影も少な

くやっと聞いても知らないといわれる。何人目かの人に聞いたら「それは ホッタノサクのことでしょ」と言った。私は今まで「ハライダノアト」と読んでいたのです。土地の人に知らないと言われる訳である。ここから10分ぐらいのところを右に曲がれば在りますとのことで家内も安堵したようだ。10分は無論車でと解釈すべきである。角館を出発してから凡そ2時間田圃の中を走ってやっと見えてきた。

9時少し前であったが資料展示館に入れてくれた。説明をお願いすると明日の「秋田国体採火式」設営のため無理ですと断られた。沢山の人達が機材と格闘している。その代わりにビデオを見せてくれた。丘の上まで行って柵の跡を見てもものすごく広い。柵も凄い。採火式をここでやりたくなるのは納得できる。将来大勢の人が来るようになるだろう。家内も来て良かったと言ってくれたので安堵した。丘の上の遺跡で蝉の声を聞き、心地よい風に当たりおやつを食べてたっぷり休憩した。無論、平安時代に想いを馳せながら。

高くなった日差しの中を出発したが工事中の迂回路で道に迷い大曲を止めて大森町に行くことにした。道を間違えたし、暑いし、12時を過ぎたので今日はここで止めることにした。宿はお盆休みだったが役場からの紹介だったので特別に泊めてもらえた。

計画：新鳩の湯 田沢湖 生保内 角館 走行計画：55.5 km

朝の予定：田沢湖 阿仁街道 角館 羽後長野 大曲 矢向峠 岩倉温泉

走行予定：60 km

実績：田沢湖 阿仁街道 角館 国見 払田の柵 六郷 角間川町 板井田 大森町

走行実績：70.41 km

つづく